

リーダーになる!

実践する上司学。
嶋津良智による、よきリーダー、上司になるための必読コラム。

第26回 アクシデントを想定する

上司は、部下からの予期せぬアクシデント、相談事、厄介事に対処しなければなりません。それらを見越した上で優先順位を考え時間を管理しましょう。

「課長、この件について意見を聞かせてほしいんですが……」

「主任、〇△商事の件で、見積の金額を間違えてしまつて、先方が怒っているんですが、どうしましょう……」

上司になると、いろいろな部下から、さまざまな案件を持ち込まれます。これは、部下時代とは大きな違いの一つではないでしょうか。部下時代には、自分自身の都合だけで優先順位を考え、時間管理をしてい

れば、うまく仕事が回ったかも知れません。

予期せぬ事態を見越す 優先順位考え時間管理

しかし、上司は違います。自分のコントロール下ではないところで、時間を割かなければならないケースがとて多くなるのです。部下から予期せぬアクシデントを持ち込まれることもあるでしょうし、思わぬところから相談事を受けた

り、厄介事に対処したりしなければならぬこともあるでしょう。

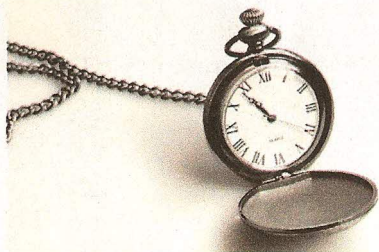
上司はそういった要素も見越した上で、優先順位を考え、時間管理をしておくなければならぬのです。分刻みのスケジュールをびつしり組んで、巧みな時間管理を自慢する人がいますが、それでは上司としてアクシデントに対応できません。余裕のある時間管理をしなければならぬのです。

対応できる時間を作る 量・質ともに効率UP

また、時間に余裕を作るために、今まで以上に仕



嶋津良智 著
リーダーズアカデミー学長。早稲田大学講師。大学卒業後、IT系ベンチャー企業に入社、トップセールスマンとなり、24歳で最年少営業部長に就任。1993年に独立、起業。94年に共同で情報通信機器販売の新会社を設立。2004年にIPOを果たす。05年に教育機関、「リーダーズアカデミー」を設立。



上司ならば、時間に余裕を持ち、部下の動きを頭に入れながら、優先順位、時間管理を考えるべきです。そこまですて当然なので

では、部下に指示を与えることと、自分の仕事に取りかかること、どちらを優先しますか？ 部下に指示を与えなければ、部下が無駄な時間を過ごしてしまうかも知れません。そうすると、部下への指示の優先順位が上がりますね。上司とはそういったところまで考えながら、優先順位を決めなければならぬのです。

（「上司のルール」より転載）